

◆男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 26 年度第 2 回)

議 事 録

2014 年 9 月 19 日 (金) 開催

時 間	15:00～17:40	場 所	地盤工学会会議室
工 藤 委 員 長	○	亀 村 オフ ^ス サ ^ー ハ ^ー	○
山 口 委 員	○	山 口 委 員	○
野 崎 委 員	○	西 岡 委 員	○
小 林 委 員	×	小 林 委 員	×
田 中 委 員	×	山 下 委 員	×
熊 野 委 員	○	熊 野 委 員	○
渡 邊 委 員	○	清 木 委 員	○
隅 倉 委 員	○	隅 倉 委 員	○

○：出席 ×：欠席 △：未定

議事録担当者：渡邊委員

【前回議事録の確認】

【別紙 - 1】 pp.1～3

近日中に、各自が個別に記述内容を確認し、修正等がある場合には委員長および議事録担当の岩崎委員までメール連絡すること。

【議 題】

【報告事項】

1. 会員・支部部の動き (工藤委員長)

【別紙 - 2】 pp.4～6

シニア講習会の計画が進んでいる。この企画では、講習会だけではなく、懇親の場を設けることも検討されているため、ワールドカフェ等でノウハウを持つダイバーシティ委員会も可能な限り協力する意義があるとの補足がなされた。

2. 土木学会ダイバーシティ推進委員会動向 (工藤委員長)

【別紙 - 3】 pp.7～8

地盤工学会の取り組みを参考に、土木学会も理事や監事、各委員会への女性会員登用依頼を会長名文書として発行した。選任する際の候補者選出について、依頼があれば土木学会ダイバーシティ推進委員会が適任者を推薦する等の協力体制をとる予定。この点については地盤工学会のダイバーシティ委員会も参考にすべきかもしれない補足説明がなされた。

3. 特別セッション(山口委員、西岡委員)

【別紙 - 4】 pp.9～18

特別セッションにおいて実施したアンケートの結果が報告された。

4. サロン・土・カフェW(熊野委員)

【別紙 - 5】 pp.19～20

アンケートの結果を踏まえて、次回開催に向けた議論がなされた。主な意見等は以下の通り。

- ✓ 参加者には大勢のリピーターが含まれることから、毎年開催することの効果を示せると良い。アンケートの中で、過去の参加状況を伺う際、再度参加した理由についても記載してもらおう。人の輪が広がっていくプロセスを具体的に学会内外に周知できると良い。
- ✓ 次回は、大会実行委員と連携して早めに準備に着手できると良い。

5. 夏の学校(工藤委員長)

【別紙 - 6】 p.21

学会誌に掲載予定の原稿をもとに議論がなされた。主な意見等は以下の通り。

- ✓ ダイバーシティ委員の紹介資料がパネルに掲示されていたが、パネルの前に机があり、紹介資料が見にくかったようである。掲示の方法を改善するか、あるいは、手持ち資料にする等の工夫が要る。
- ✓ 国数英理社の個々の科目から土木が直接的に連想されない。何を学ぶと土木につながるのか説

明できると良い。

- ✓ 他ブースと差別化を図り、地盤工学の特長をアピールして、説得力あるプレゼンをするとう良い。
- ✓ 土木は就職先が豊富であること等の利点を学生や引率教員にアピールするとう良い。
- ✓ 「もしも地球に 100 人の〇〇しかいなかったら」という形で、土木の就職先や仕事を分かりやすく伝えてはどうか。

6. 男女共同参画学協会連絡会関連(山口委員)

【別紙 - 7】 pp.22~25

都合のつく委員には、本シンポジウムに参加し、情報収集してもらいたい。参加する場合、参加費と交通費はダイバーシティ委員会が支給する。

7. 土木女子(工藤委員長)

【別紙 - 8】 pp.26~30

写真集「土木女子！」について紹介がなされた。

8. 地盤女子(工藤委員長)

【別紙 - 9】 p.31

外部企業から依頼のあった「地盤女子に関する特集および連載」について経緯が説明された。本年 9 月 30 日に依頼元との座談会が予定されており、ダイバーシティ委員会からは、工藤委員長、山口委員、熊野委員が出席する。

【審議事項】

1. ダイバーシティ小特集

【別紙 - 10】 pp.32~34

平成 27 年度 7 月号のダイバーシティ小特集について議論がなされた。意見等は以下の通り。

- ✓ 運営委員会に提出する趣意文と構成案は、9 月中旬に作成し、工藤委員長から運営委員会に提出する。構成については、総ページ数(15P または 16P)の厳守を前提に、総説 1 編(1P または 2P)、論説 1 編(4P)、報告 5 編(2P×5)とする。
- ✓ 女性活動(男女共同)・シニア活動・若手活動の三本柱を意識して構成する。
- ✓ 報告の 1 つは、執筆予定者側の事情により、学会規定外の原稿執筆料が発生する可能性がある。執筆予定者本人への執筆の可否を打診し、原稿執筆料について明確にした後、事務局と相談する。
- ✓ 報告の 1 つは、若手(学生会員は含めない)の活動についてダイバーシティの観点から取りまとめる。各支部の若手活動、若手のコネクション作りについて記載する予定。
- ✓ 学会誌 web 版の技術者紹介については、男女共同参画に限定せず、ダイバーシティに関わる内容を幅広く扱うこととする。ただし、執筆者は地盤工学会会員に限定する。後日、執筆者候補と執筆してもらいたい内容をメールにて各自提出する。

2. サポーターメール配信、委員会 HP の更新

【別紙 - 11】 pp.35~42

- ✓ サポーターメール配信については山口委員が担当することになった。メール文案作成等を行う。
- ✓ 委員会 HP の更新について熊野委員が担当することになった。リンク切れ等の HP の内容確認等を行い、その結果は広報委員会と共有するために清木委員に報告する。

3. その他

得になし。

4. 次回開催日の確認： 2014 年 12 月 19 日 (金) 14:00~16:00

主な議題は、平成 27 年度計画について。奥村組の倉品悠氏をオブザーバーとして招く予定。